

テーマ番号4										2022 年度				
概要説明シート														
テーマ		図書館												
根拠法令・計画等		図書館法、入間市立図書館設置及び管理条例、入間市立図書館設置及び管理条例施行規則、第3次入間市立図書館基本計画								担当局・部名		教育部		
										担当課名		図書館		
										作成責任者		平岡 康子		
実施の背景		〔施設の沿革〕1966年の市制施行に伴い、図書館設置及び管理条例制定。旧市役所内に図書館を設置し図書館業務を開始。1973年中央公民館2階に移転。1985年産業文化センター内に移転。1986年宮寺配本所、1993年西武分館、1994年金子分館、2001年藤沢分館を開館。1995年所沢市、狭山市、飯能市と相互利用開始。2015年青梅市と相互利用開始。2016年度から分館は指定管理者制度を導入。2019年日高市と相互利用開始。 〔現代の社会的背景〕 ①国際化、少子高齢化の急速な進展による人口構造の変化 ②ICT(情報通信技術)の発達に伴う情報化社会の進展 ③人生100年時代の到来を踏まえながら、誰一人取り残さないというSDGsの実現などの社会情勢の変革期において、図書館には、新たな役割が求められている。												
目的 (何のために)		図書館法の理念に基づき、計画的な資料収集と蔵書管理を図り、学びの拠点となるサービスを提供するとともに、市民ニーズに的確に対応できる図書館サービスを提供する。あわせて、図書館の環境を整備し効率的な運営を図ることにより入間市立図書館の基本理念である「くらしに役立ち学びを支える身近な図書館」となることを目的とする。												
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)		入間市内に居住又は通学・通勤している人。所沢市、飯能市、狭山市、日高市、青梅市の居住者も利用可能								対象者数（全住民に対する割合） 146,074 人（ 100 % ）			
	事業内容 (手段、手法など)		事業内容											
			1 図書館資料の収集・整理・保存・提供 2 貸し出し業務 3 レファレンス業務(相談業務) 4 移動図書館業務 5 宮寺配本所の運営 6 子どもの読書活動の推進 7 障害のある方へのサービス(デージー図書、点字図書、ＬＬブック等の提供) 8 高齢者へのサービス 9 他自治体や機関との連携 10 分館の指定管理者に対する監督・モニタリング 11 広報活動（図書館ＨＰ、図書館だより、地元ＦＭ放送等）											
			関連事業 (同一目的事業等)		市内小中学校図書館、市内地区公民館図書室10館(全13館中、金子・宮寺・藤沢・3館を除く)、青少年活動センター、児童センター各々の図書室									
コスト			2022 年度（予算）			2021 年度（決算）			2020 年度（決算）			2019 年度（決算）		
	事業費合計		208,970 千円			209,941 千円			209,991 千円			205,022 千円		
	事業費内訳 (2021年度分)		図書館協議会委員報酬 247千円 施設管理費 165,280千円(指定管理料含む) 情報ネットワークシステム整備事業 19,672千円 図書等整備事業 22,511千円 図書館蔵書クリーンアップ・書籍除菌機拡充事業 1,359千円 図書館内感染症予防事業 660千円 事業運営費 213千円											
	人件費	担当正職員	12人	89,774 千円	12人	83,637 千円	12人	86,135 千円	12人	90,313 千円				
		臨時職員等	25人	41,941 千円	24人	34,092 千円	22人	32,737 千円	21人	28,769 千円				
		人件費合計	37人	131,715 千円	36人	117,729 千円	34人	118,872 千円	33人	119,082 千円				
	総事業費		340,685 千円			327,668 千円			328,861 千円			324,127 千円		
国県支出金					2,019 千円			247 千円						
財源内訳	国県支出金の内容		国庫支出金 図書館資料郵送貸出事業(2020年)、図書館蔵書クリーンアップ・書籍除菌機拡充事業、図書館内感染症予防事業(2021年)											
	地方債		8,900 千円			4,500 千円								
	その他特財		10,979 千円			123 千円			93 千円			332 千円		
	その他特財の内容		雑入、コピー使用料、資源物等売払代金											
	一般財源		320,806 千円			327,668 千円			328,861 千円			324,127 千円		
財源合計		340,685 千円			327,668 千円			328,861 千円			324,127 千円			

テーマ番号4				2022 年度				
概要説明シート								
テーマ		図書館						
主な事業の自己評価、課題、活動実績等	①	事業名	図書館資料貸出事業					
		資料の貸し出しや、季節や話題、時事問題等に合わせたテーマ本の展示を行い、市民と本との新たな出会いの機会を提供するとともに利用促進を図る。電子図書館サービスを開始し、いつでもどこでも利用できる読書環境を整える。多様化する市民ニーズに応え、レファレンスサービスを充実させることにより、情報拠点としての機能充実を図る。						
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度		
		年間貸出点数	点	689,720	480,765	794,285		
		年間入館者数	人	485,364	341,039	638,659		
	②	事業名	移動図書館事業					
		移動図書館「やまばと号」を運行することにより、本館・分館を利用しにくい地域の市民のために各ステーションを巡回し、図書館サービスを提供する。（公共施設6カ所、一般ステーション11カ所、小学校8校）						
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度		
		年間貸出点数	点	16,787	9,248	17,111		
		年間利用者数	人	5,884	3,252	5,881		
	③	事業名	子どもの読書活動推進事業					
		・「おはなし会」を実施することにより、子どもと保護者が本に親しめるような環境を整備する。 ・「図書館利用教室」や「図書館施設見学」を実施することにより、市内の全児童に図書館を知ってもらう機会を設ける。 ・図書館が薦める図書を紹介したブックリストを発行し、市内全児童・生徒に配布することにより読書活動の推進を図る。 ・学童保育室や学校図書館支援のため、団体貸出や配本サービスの充実を図る。 ・学校図書館ボランティア研修会を実施し、学校図書館を支援する。 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催することにより、子どもたちの知的好奇心、情報リテラシーを向上させる。 ・中・高生を中心とした10代に向けた資料の収集とコーナーの充実を図る。						
		【活動指標名】（実績値/目標値）	単位	2019 年度	2018 年度	2017 年度		
		おはなし会	回数	349	380	378		
			参加者数	3,937	4,715	4,436		
		図書館利用教室	校数	16	16	16		
		図書館見学	校数	15	15	15		
テーマ成果	成果目標 （指標設定理由等）	年間貸し出し点数や年間利用者数からだけでなく、事業目的を達成したかどうか判別するため、市民意識調査に基づく「市民満足度」を指標として活用する。						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2021 年度	2020 年度	2019 年度		
		満足度（市民意識調査に基づく）	加重平均値	0.394	—	0.376		
テーマにおける今後の事業の方向性		・近年、貸出点数、貸出者数が減少している。その要因を分析して対応策を図るとともに、話題本コーナー等テーマ本展示の充実や事業を実施し、図書館利用の契機づくりや魅力ある蔵書構成をめざし、新たな利用者を獲得するよう努める。 ・多様化する利用者のニーズに迅速かつ的確に対応し、専門的知識や技術を有する職員を配置するために職員のレファレンス能力を向上させていく。その方法として埼玉県の主催する研修に参加しスキルの向上を図る。 ・移動図書館は図書館から離れた地域にとって不可欠な図書館施設であることから、更なるサービスの充実について検討する。 ・児童書全般について、年齢相応な資料の充実を図る。具体的には子育て支援として赤ちゃん絵本コーナーを充実し、小中学生には調べ学習に活用できる資料を整備していく。 ・おはなし会の参加者数が増加するように、読み聞かせの効果について周知するとともに内容の充実や広報の工夫をする。 ・小・中・高と学年があがるごとに図書館利用率が下がり、特に高校生の利用率の減少が顕著なため、図書館利用や不読率低減対策を行う。そのために市内高等学校と定期的な会議を通じて最新のニーズを把握し、高校生の読書の推進を図る。併せて、中高生は学習室の利用も多いため、その環境整備に努める。 ・社会教育施設としての図書館のあり方や持続可能なまちづくりに参画できる身近な図書館としての役割について研究する。 ・公衆無線LAN(Wi-Fi)を導入することにより、居場所としての図書館環境の充実を図る。						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		ダイアプラン圏内市立図書館の年間入館者数・貸出点数調べ				期間2020/4/1～2021/3/31		
		自治体名	貸出点数（点）		入館者数（人）		人口(2020/4/1現在)	
		所沢市	1,305,277		685,040		344,604	
		狭山市	722,367		358,539		150,394	
		飯能市	318,207		125,216		79,343	
		日高市*1	292,553		50,530		55,590	
		入間市	689,720		341,039		147,542	
特記事項		*1：日高市は入館者数統計を取得していないため「利用者数」を記載している。						